



後援会で山梨に巨峰狩り

8月31日(日)、石井としお後援会は朝6時30分に村を出発し山梨県山梨市へマイクロバスで巨峰狩りを行いました。車中では石塚後援会長と石井村議より「一日楽しく、皆さんとの親睦が深まるように」との挨拶から始まり、途中から隣り合わせで会話も弾み一路、石井議員の友人(丸山農園)に向かい到着しました。さっそく丸山さんより巨峰狩りの諸注意を頂き、全員でブドウ畑に入りました。真っ黒な巨峰がたわわに実り、丸山さんより「食べて美味しかったら購入してください」「美味しくなかったら置いてください」という、言葉をもらい、試食してみると「甘い」「旨いよ」と言う声は畑の中から聞こえました。皆さん、用意したカゴに巨峰を詰め込んだのです。

中には「どうしたらこんなに甘いブドウができるのですか」と、丸山さんに問いかけるご婦人もいました。収穫を終え丸山農園に戻ると、座敷に上がらせてもらい弁当にビール、冷やしたワインで腹いっぱいとなり自己紹介で盛り上がりました。昼食が終わり、近くの温泉で休憩でした。温泉に入った方からは「風呂から見下ろす甲府盆地は最高」とのことでした。

中央高速での帰路は残念ながら事故渋滞でしたが【アヤノコウジキミマロ】のカセットでゲラゲラと全員が笑いこけ、村に到着したのが8時を回

りました。予定時刻をオーバーしたことにお詫び申し上げます。来年も、企画しますので、ご参加をお願いします。今回のレクで会員相互の親睦が深まることが願いでした。さあどうでしたか。最後に車の運転をして頂いたご両名に感謝申し上げます。

「合併ありきではこまる」「情報公開を」

—第一回合併協議会に傍聴して—

9月1日、茂原市役所において第一回長生合併協議会が開かれ、石井議員が傍聴してきました。協議委員は7市町村と県を含め43名です。協議会は冒頭、委員長で茂原市長の石井氏より「合併は歴史的意味をもつ、長生地区は山、都市、海をもちバランスが取れている。東京、千葉への通勤圏。今後は住民調査、住民説明会、HPなどで情報を下ろします。」との挨拶を受け、総額予算4850万を承認しました。当日、長生村の市原村長、東條委員が質問に立ちました。

●この合併協議会は合併ありきで進むのか茂原市長は「合併推進」で動いてきた、信頼できない。議題の採決は「承認でなく、挙手による採決」にすべきだ。●合併は苦しい選択。事務局は中立であること。「特急料金」を旅費で認めるのか。●今後の議題は「挙手」で進めてもらいたい●住民アンケートをとるのか●茂原市長は日ごろ「情報公開」と言うが茂原の広報には合併問題が出ていない。●長生村で広報に載せられるのは議会と議長が協力してくれるからです。●石井議長・事務局答弁、①議題の決め方は「今後は挙手による採決」とします。②合併協議会の進め方は合併ありきではなく、合併の是非を含めて協議します。③情報公開は今後やります。④住民説明やアンケートもやる。⑤特急料金は認める。情報公開は毎月一回のニュースで住民に配布します。

9月議会と後援会総会にご参加を

①9月18日(木)9:00より村役場3Fの議場で定例議会が開催されます。石井は「村の活性化に向けて・古代塩づくりや道の駅を」「ゴミ袋の種類を増やすこと・減量化に向けて・天ぶら油から石鹸作りを」「合併問題について」など、3点について質問します。議会の傍聴をお願いします。
②9月27日(土)午後2時より、七井土交差点、長生観光2Fで石井としお後援会の第2回総会が開催されます。年間の活動・合併問題・レクレーション活動など、会員の皆さんと年間総括・次年度方針を決めます。会員の方は是非、ご参加くださることをお願いします。